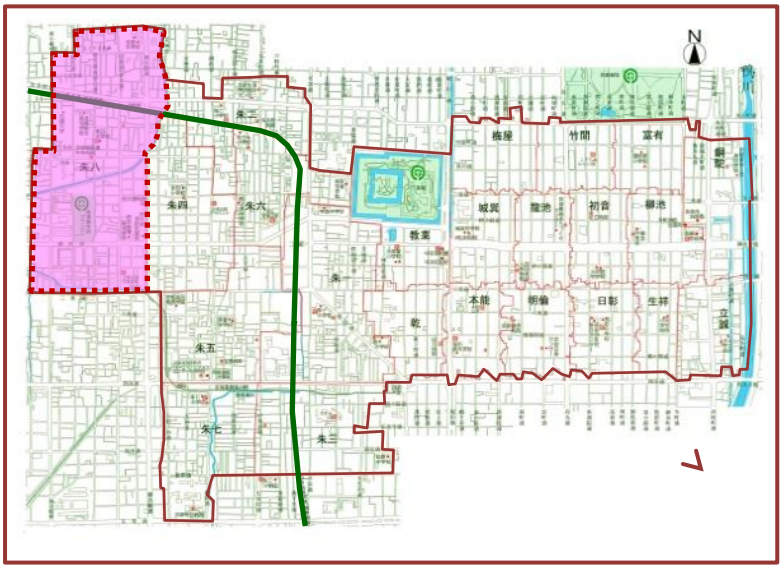
朱雀第八学区（すざくだいはち）

朱雀第八学区は、中京区の最西端に位置しており、北区、上京区、右京区と接しています。

学区内にある西京高等学校からは平安時代の邸宅跡や陶器や石製品などが多数発掘され、9 世紀から 10 世紀前半の皇族の暮らしを研究するための重要な資料となっています。また、北野中学校には豊臣秀吉が築いたといわれている「御土居（おどい）」が残っており、当時から西大路（にしおおじ）界隈が都の西端の重要な位置にあったと思われています。

区内で最大の面積を有する学区で、人口も中京区の約 10％を占めており、保育園・幼稚園から大学まで教育施設がそろい、子どもを健やかに育てるために地域ぐるみで子ども見守り運動に取り組んでいます。



京都市立朱雀第八小学校

ずいき神輿をかつぐ人々

学区の文化や歴史的建造物など　「北野神社御旅所（きたのじんじゃおたびしょ）」

北野神社御旅所は、北野天満宮（きたのてんまんぐう）から神をお迎えし、野菜や穀物の収穫に感謝の心を捧げる場所です。毎年 10 月 1 日から 5 日までずいき祭が行われ、屋根をずいき芋（里芋の茎）で葺（ふ）き、野菜や乾物で飾られた「ずいき御輿」が御旅所に奉られ展覧されます（10 月 1 日から 4 日まで）。

ずいき祭は京都の代表的な秋祭として知られており、菅原道真公（すがわらのみちざね）が大宰府（だざいふ）で彫られた木像を随行のものが持ち帰っておまつりし、秋の収穫時に野菜や穀物をお供えして感謝を捧げたことが始まりと伝わります。

自治会・町内会に加入しましょう

朱雀第八自治連合会

朱雀第八自治連合会は学区内にある51の自治会・町内会と、17の各種団体が協働し、地域の活性化と安心安全、問題解決に取り組む、地域住民による組織です。

主な年間行事

9月　敬老会、朱八

ふれあい広場

10月　ずいき祭り、学区民運動会

11月　防災訓練

12月　年末特別警戒パトロール

※例年実施していました主な行事ですが、新型コロナ感染症予防対策として、開催を自粛する場合もあります

■発行　中京区役所 地域力推進室 まちづくり推進担当

京都市は、地域コミュニティを推進しています